

I 第14週の発生動向 (2009/3/30~2009/4/5)

- インフルエンザについては、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。八戸保健所管内においては前週に引き続き**注意報**が発令されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、八戸、上十三保健所において、前週に引き続き**警報**が発令されています。
- 水痘については、東地方+青森市保健所管内において、前週に引き続き**注意報**が発令されています。

II 第14週五類感染症定点把握 注: 五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数																																																
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点																																											
小児科+内科 (85) インフルエンザ	92	6.6	91	6.1	177	12.6	27	3.9	110	12.2	11	2.2	508	7.9	-105	4	2.0	88	7.3	<table border="1"> <tr> <td rowspan="14">保健所名</td> <td rowspan="14">インフルエンザ (内科+小児科)</td> <td rowspan="14">小児科</td> <td rowspan="14">眼科</td> <td rowspan="14">基幹</td> </tr> <tr><td>東地方</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>青森市</td><td>12</td><td>8</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>弘前</td><td>15</td><td>9</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr><td>八戸</td><td>14</td><td>9</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>五所川原</td><td>7</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>上十三</td><td>9</td><td>6</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>むつ</td><td>5</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>64</td><td>42</td><td>11</td><td>6</td></tr> </table>				保健所名	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹	東地方	2	1	0	0	青森市	12	8	2	1	弘前	15	9	3	1	八戸	14	9	2	1	五所川原	7	5	1	1	上十三	9	6	2	1	むつ	5	4	1	1	合計	64	42	11	6
保健所名	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹																																																																
					東地方	2	1	0	0																																																											
					青森市	12	8	2	1																																																											
					弘前	15	9	3	1																																																											
					八戸	14	9	2	1																																																											
					五所川原	7	5	1	1																																																											
					上十三	9	6	2	1																																																											
					むつ	5	4	1	1																																																											
					合計	64	42	11	6																																																											
					小児科 (74) RSウイルス感染症	3	0.3	1	0.1									4	0.1										2			3	0.4																																			
					(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1			1	0.2			2	0.5	5	0.1										-1			1	0.1																																			
					(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.4	7	0.8	40	4.4	2	0.4	41	6.8	6	1.5	109	2.6										12	2	2.0	11	1.4																																			
					(77) 感染性胃腸炎	96	10.7	72	8.0	21	2.3	20	4.0	33	5.5	43	10.8	285	6.8										25	5	5.0	91	11.4																																			
					(78) 水痘	46	5.1	9	1.0			3	0.6	15	2.5	4	1.0	77	1.8	13	6	6.0	40	5.0																																												
(79) 手足口病	9	1.0			1	0.1					3	0.8	13	0.3	-11			9	1.1																																																	
(80) 伝染性紅斑	3	0.3	4	0.4	2	0.2	2	0.4					11	0.3	0			3	0.4																																																	
(81) 突発性発しん	5	0.6	3	0.3	5	0.6	1	0.2	1	0.2	6	1.5	21	0.5	9			5	0.6																																																	
(82) 百日咳									1	0.2			1	0.0	1																																																					
(83) ヘルパンギーナ														0																																																						
(84) 流行性耳下腺炎	6	0.7	1	0.1			6	1.2			1	0.3	14	0.3	-19			6	0.8																																																	
眼科 (86) 急性出血性結膜炎														0																																																						
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5					2	2.0	1	0.5			4	0.4	-3			1	0.5																																																	
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	2	2.0					3	3.0	7	1.2	-4																																																					

■は警報、■は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注: 届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、上十三3人、青森市1人 (21年計: 84人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

IV 病原体検出情報 ( ) は、検体採取年月日です

- インフルエンザAH1型ウイルスが青森地域で2株 (2/26, 3/6), 五所川原地域で1株 (3/5), インフルエンザAH3型が青森地域で2株 (3/5, 3/11), 五所川原地域で1株 (3/5), インフルエンザB型ウイルスが五所川原地域で7株 (3/2: 1件, 3/3: 5件, 3/4: 1件) 分離されました。
- 弘前地域のウイルス性胃腸炎患者1名 (3/12便検体採取) から、ノロウイルスGII型が検出されました。

# 感染症の窓

# 結核

(二類全数把握疾患)

表1 診断類型 (2009年第14週現在速報値)

型	人数
肺結核	52人
無症状病原体保有者	20人
その他の結核	13人

\*その他の結核: 粟粒結核、頸部リンパ節結核、結核性リンパ節炎、結核性胸膜炎、肺門リンパ節結核など。

表2 症状別内訳 (肺結核) 52人内訳  
青森県感染症発生動向調査による速報値

症状	割合
咳	54%
痰	44%
無し	19%
発熱	35%
胸痛	10%
呼吸困難	10%
食欲不振	4%
全身倦怠感	2%

結核は、患者の咳やくしゃみ等の飛沫により感染します。通常は、免疫機能が働き、結核菌の増殖を抑えますが、免疫力が弱っている時などに感染が成立し発病します。10~20歳代の300人に1人が死亡していた昭和20年代と比べ治療薬の進歩や予防の啓発などにより死亡数は大幅に減少しましたが、決して過去の病気ではなく、現在でも重症となる感染症の一つです。本県においても2008年に弘前市役所内において集団感染事例がありました。結核の潜伏期間は、1~数カ月と長く、症状は咳、喀痰、発熱、胸痛など多彩であり、感染しても症状が無い場合もあります(表2)。咳が長く続く場合などは、最寄りの医療機関の受診をお勧めします。

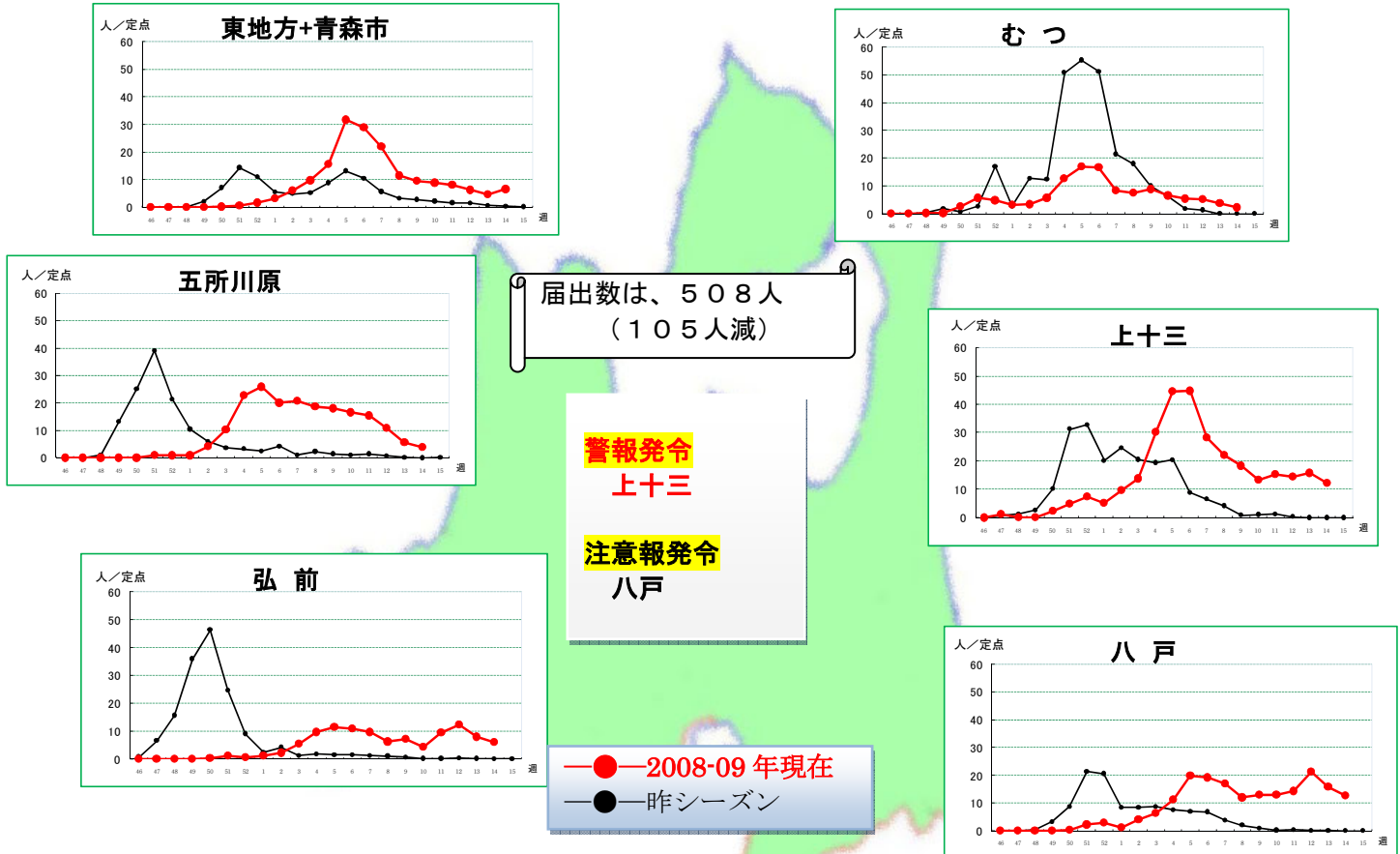
#### IV インフルエンザ情報 第14週 (3/30~4/5)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
<b>インフルエンザ報告数</b>	4	91	177	27	110	11	88
<b>A型</b>	3	26	18	3	14	0	—
<b>B型</b>	1	65	144	5	95	11	—

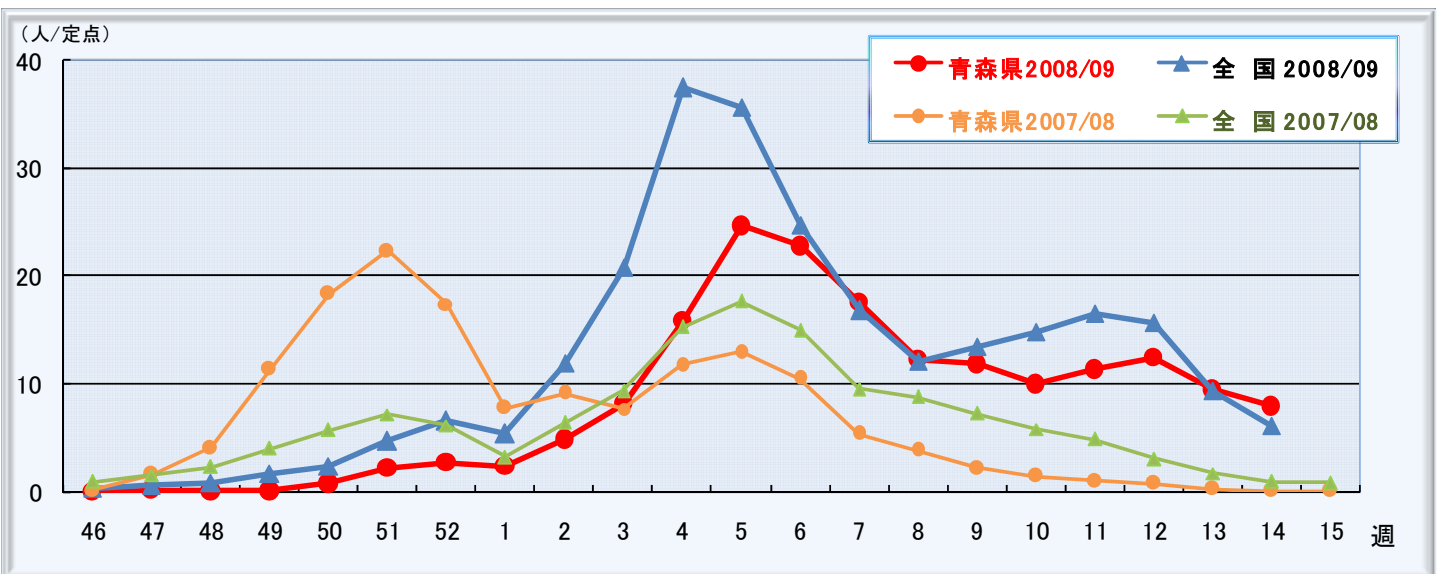
県全体の届出数は減少しましたが、B型の検出が続いており、A型に感染し軽快した後にB型に感染することもありますので、今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが必要です。

#### V 保健所管内別届出数推移 \*Adobe Readerは、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

#### VI 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal\\_flu.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html)

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu\\_shot.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html)